

伊賀市災害廃棄物処理計画

【概要版】



2016（平成28）年7月

伊賀市

＜計画策定の目的＞

三重県においては、南海トラフ巨大地震発生の緊迫性が高く、発災時の災害廃棄物処理体制をあらかじめ構築しておく重要性が大きくなっています。

本市では、この状況を踏まえ、「伊賀市地域防災計画」と整合を図り、大量に発生することが見込まれる災害廃棄物について、迅速かつ適正に処理するために必要な事項を定め、市民の生活環境を保全し、地域の早期復旧・復興を行うことを目的として策定します。

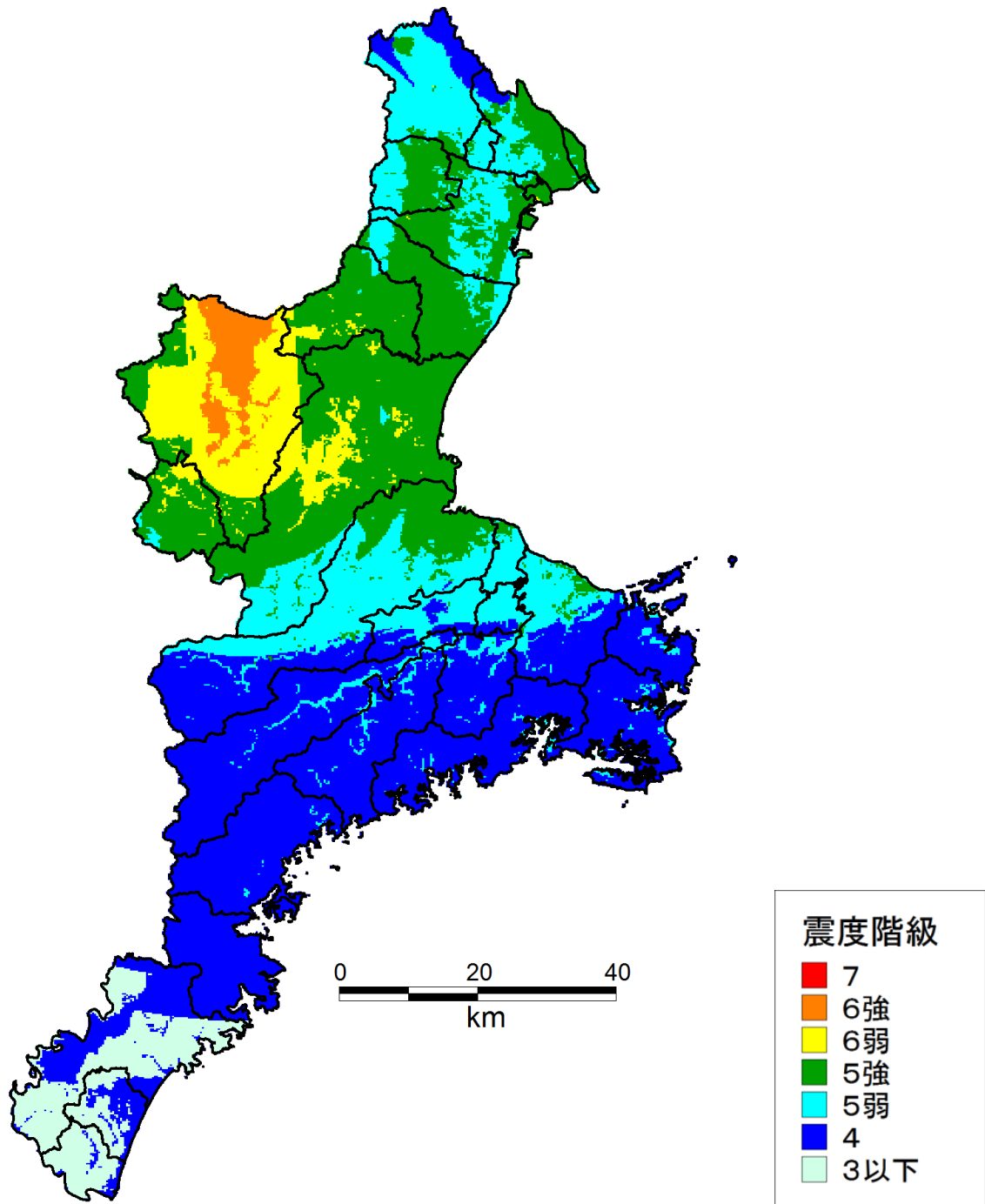
＜被害想定＞

本計画で想定する災害廃棄物の発生量は、想定する地震のうち被害が最も大きくなる「頓宮断層地震」について、三重県地震被害想定調査（2014（平成26）年3月）において推計した災害廃棄物量等の発生量の推計結果を参考として、災害廃棄物の種類ごとに分類したものを使用する。

項 目	被害等の内容		
想定する地震	頓宮断層地震	南海トラフ地震 (過去最大クラス)	南海トラフ地震 (理論上最大クラス)
予測震度	市域の大部分で震度6弱、一部では震度6強も想定される	市域の大部分で震度5強、一部では震度6弱も想定される	市域の大部分で震度6弱、一部では震度6強も想定される
全壊・焼失棟数 (冬・夕方)	揺れ：約 4,400 棟 液状化：約 20 棟 急傾斜地等：約 40 棟 火災：約 30 棟 合計：約 4,500 棟	揺れ：約 50 棟 液状化：約 10 棟 急傾斜地等：－ 火災：－ 合計：約 60 棟	揺れ：約 1,900 棟 液状化：約 20 棟 急傾斜地等：約 40 棟 火災：約 20 棟 合計：約 1,900 棟
死者数	建物倒壊：約 200 人	－	建物倒壊：約 70 人
負傷者	重傷者：約 400 人 軽症者：約 1,800 人	重傷者：－ 軽症者：約 90 人	重傷者：約 200 人 軽症者：約 1,300 人
避難者数 (発災 7 日後)	約 21,068 人	約 8,400 人	約 20,000 人

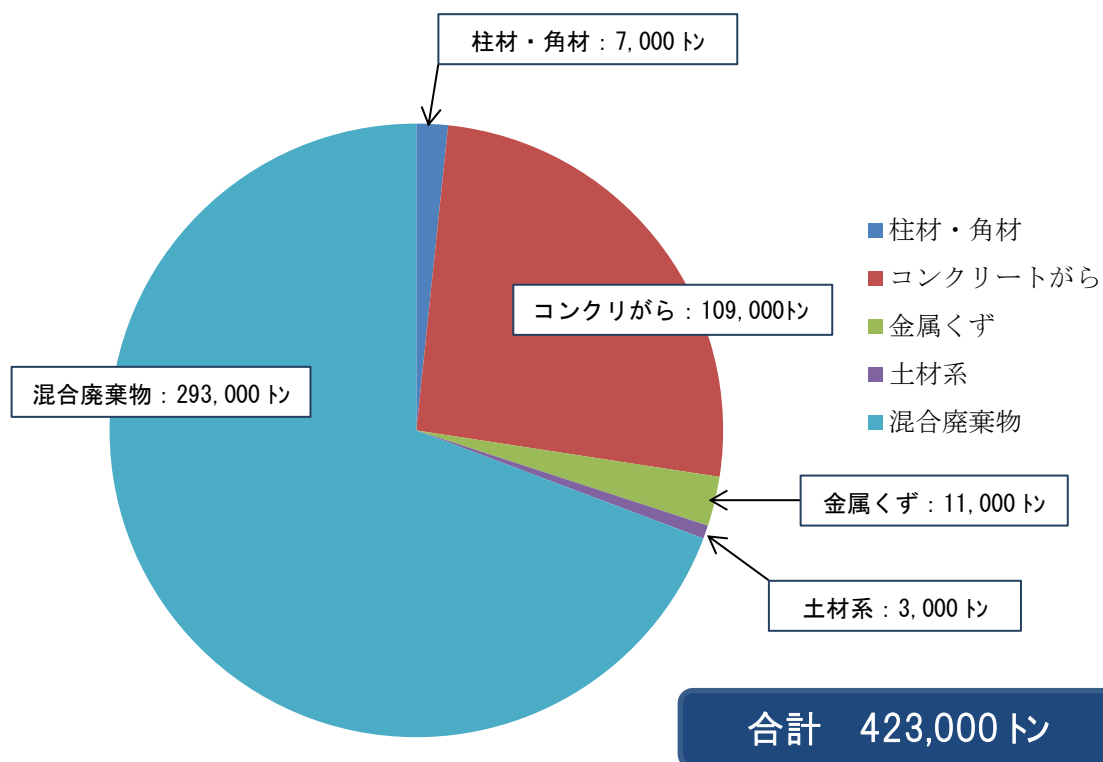
(三重県地域防災計画、三重県地震被害想定結果より参照)

＜頓宮断層地震による強振動予測結果＞



(三重県「地震被害想定調査結果(ハザード関係)の 概要について(平成 26 年 3 月)」より参照)

＜主な災害廃棄物の発生量の推計（頓宮断層地震）＞



＜災害廃棄物の種類及び内容＞

◆主な災害廃棄物

種類	内容
柱材・角材	柱、梁、壁材、流木等
コンクリートがら	コンクリート片、コンクリートブロック、アスファルトくず等
金属くず	鉄骨、鉄筋、アルミ材等
土材系	河川から流出した土砂が堆積したものや農地土壌等が流出し堆積したもの
混合廃棄物	上記の災害廃棄物が混在した状態のもので、破碎・選別が実施される前のもの

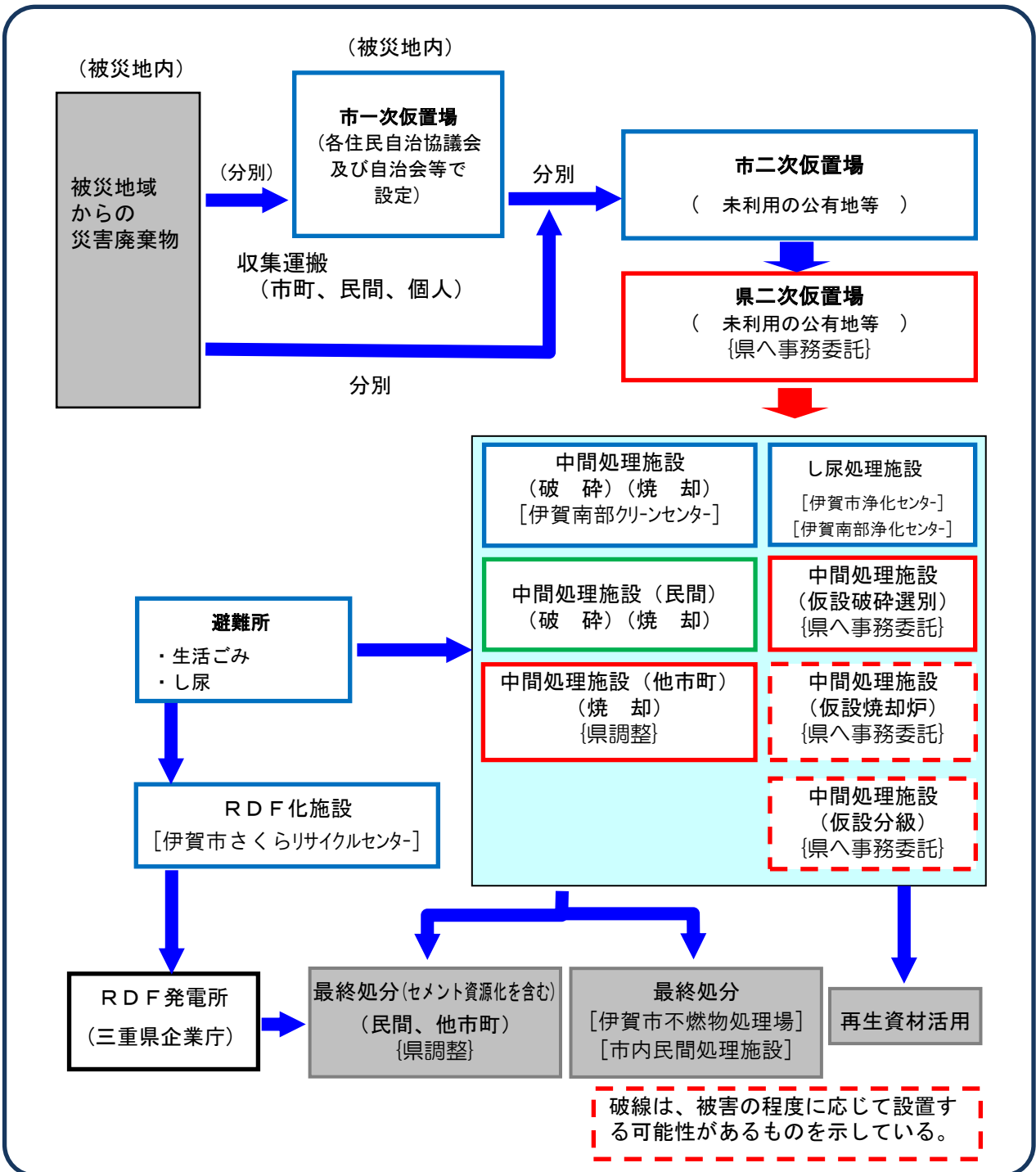
◆その他の災害廃棄物

種類	内容
避難所ごみ	避難所から排出される生活ごみ等
し尿	避難所等に設置した仮設トイレ等からの汲取りし尿
有害物質含有廃棄物	石綿含有廃棄物、PCB、感染性廃棄物等
その他適正処理困難物	消火器、ボンベ類、漁網、石膏ボード等
腐敗性廃棄物	畳、水産物、食品、水産加工場や飼肥料工場等から発生する原料及び製品等
廃自動車	災害により被害を受け使用できなくなった自動車、自動二輪、原付自転車

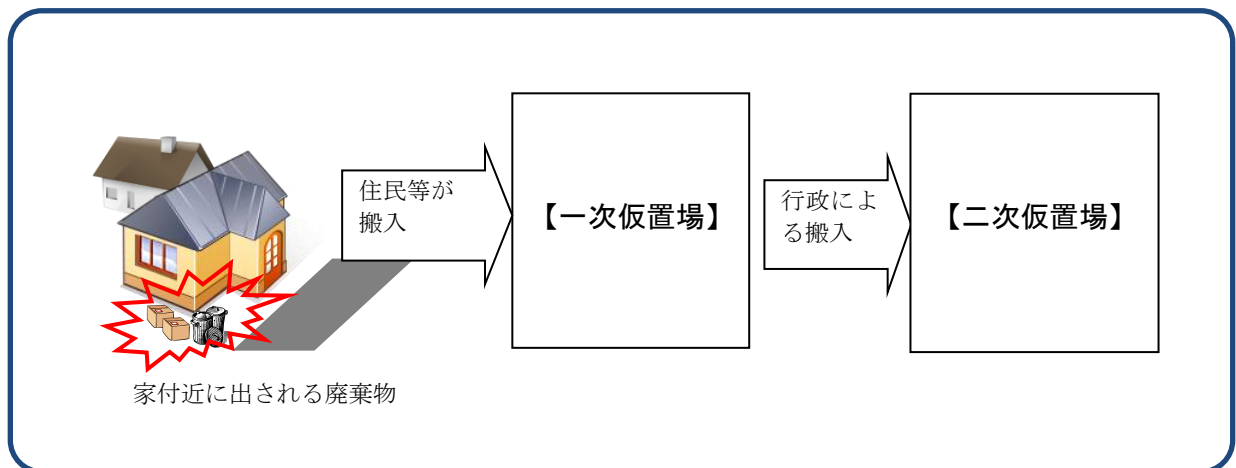
＜災害廃棄物の流れ＞

被災地内で発生した災害廃棄物は、市民により一次仮置場へ排出された後、市または収集運搬業者等により二次仮置場へ運び分別した後、それぞれ焼却や埋立て、再資源化される。災害の規模によって、市だけで処理できない場合は、他市町や県、また民間の支援を受け処理を進める。

【大規模災害時の処理フロー図】



<災害廃棄物仮置場>



【仮置場の考え方】

◆一次仮置場

- 各自治会や住民自治協議会で選定した、地区の公園や空き地など。

【災害廃棄物が排出されている例】



◆二次仮置場

- 市が所有する公園やグラウンドなど。

【二次仮置場として使用している例】



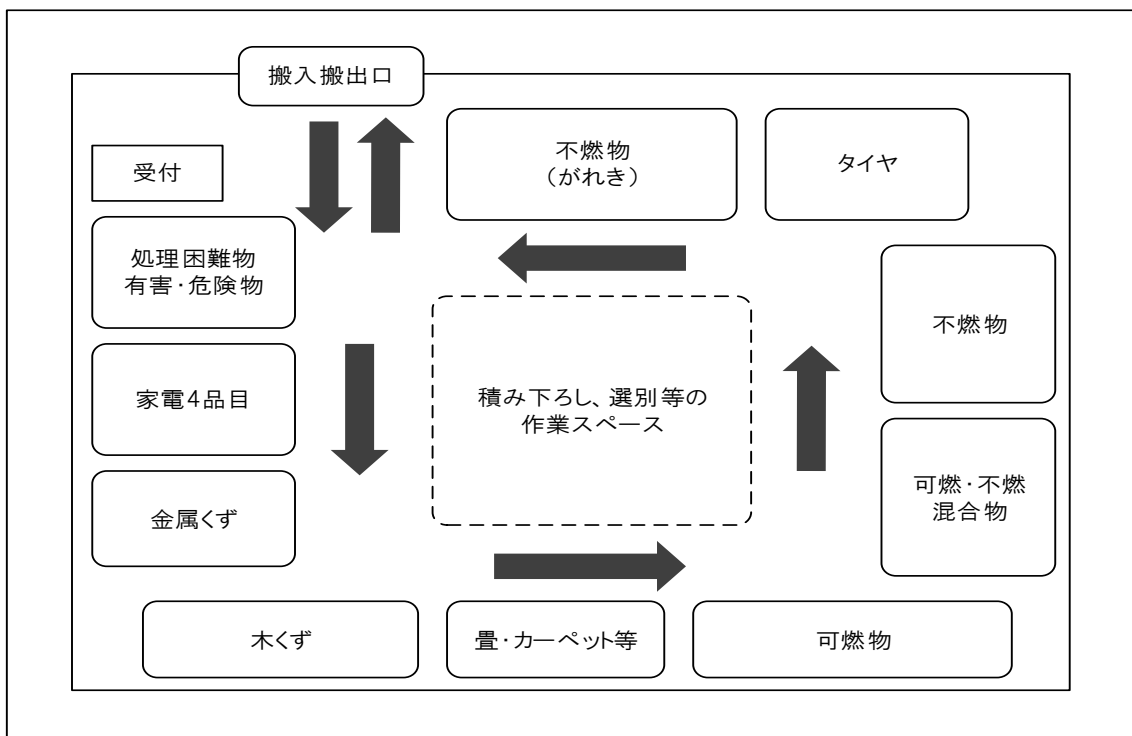
• 二次仮置場候補地

No.	地区	名称	住所	面積(m ²)
1	上野	上野運動公園野球場	小田町 317	13,000
2	上野	上野運動公園競技場	小田町 470	13,740
3	上野	伊賀市農業公園ふれあい広場	予野 11440-2	4,900
4	上野	旧成和中学校グラウンド	上之庄 2711	11,700
5	伊賀	いがまちスポーツセンター総合グラウンド*	愛田 346	21,600
6	伊賀	市有地	中柘植 1414 ほか	7,600
7	阿山	阿山第二運動公園	川合 3376-7	10,000
8	大山田	大山田 B&G 海洋センター駐車場	平田 3154	3,700
9	大山田	せせらぎ公園グラウンド	平田 725	14,000
10	大山田	市有地	甲野字山王 3060-2 ほか	1,750
11	青山	青山北部公園	阿保 158	10,500
12	青山	青山グラウンド	奥鹿野 1988-1	18,000
計				130,490

※災害の規模や天候、時期等も考慮のうえ適当な場所を使用する。

◆仮置場の設置、運営

- 被害状況に合わせて災害廃棄物量を推計し二次仮置場を選定する。
- 仮置場の選定は、候補地リストの中から、復興に向けた各種計画（復旧・復興計画、都市計画等）を勘案し、関係部局と調整のうえ設置を進める。
- 一次仮置場および二次仮置場の所在地、搬入ルールを周知、広報する。
- 一次仮置場の管理方法を各住民自治協議会及び自治会等と協議する。
- 被害状況を反映し実際に計量・推計された発生量をもとに必要面積の見直しを行う。



【二次仮置場平面図（例）】

(MEMO)

伊賀市災害廃棄物処理計画（概要版）

伊賀市人権生活環境部 廃棄物対策課

〒518-1155 三重県伊賀市治田 3547-13 さくらリサイクルセンター内

TEL : 0595-20-1050 FAX : 0595-20-2575